

2007年度第1回連合理事会議事録

日 時：2007年4月21日（土）17:40～19:40

場 所：統計数理研究所 特別会議室

出席者：理事（五十音順）：岩崎 学，鎌倉稔成，北川源四郎，白旗慎吾，田栗正章，田中勝人，丹後俊郎，馬場康維，水田正弘，矢島敬二，山口和範。

委任状：岡太彬訓

報 告

2007年度の連合理事会は以下のメンバーで構成されることが確認された

- ・応用統計学会： 田栗 正章，鎌倉 稔成
- ・日本計量統計学会： 白旗 慎吾，水田 正弘
- ・日本計量生物学会： 丹後 俊郎，岩崎 学
- ・日本行動計量学会： 岡太 彬訓，馬場 康維
- ・日本統計学会： 北川源四郎，田中 勝人
- ・日本分類学会： 矢島 敬二，山口 和範

理事の任期は2年間（2007年4月1日～2009年3月31日）で，理事が交代した場合の任期は現理事の残存任期となることが確認された。

議 事

1. 連合理事長の選出

投票の結果，北川源四郎理事が過半数の得票を得て理事長に選出された。連合理事長は，2007年度連合大会運営委員会の委員長も兼務することが確認された。

2. 前年度最終理事会申し送り事項の検討

前年度理事会からの申し送り事項につき，以下のような検討が行なわれた。

- ・大学院教育への取り組み：統計関連大学院教育検討委員会（メンバー：宮川雅巳（応用統計学会），中野純司（計量統計学会），岸野洋久（計量生物学会），林 篤裕（行動計量学会），伴 金美（統計学会））に今後の検討を委ねる。なお，分類学会は林篤裕氏への依頼を検討中。
- ・6学会以外の学会への参加呼びかけの検討：学会連合への加盟申請の書式を整備し，加盟申請があった場合には理事会にて審査する。
- ・法人化の議論：今後継続して検討する。
- ・理事会規定の見直し：必要な見直しを行なう。
- ・新規事業の提案：詳細は事業検討委員会に委ねる。
- ・科学研究費への応募の促進。大型の研究費のとりまとめ：外部から顔の見える形での活動の重要性が示され，大型研究費の申請には各学会が協力する必要があるとした。

- ・ 連合大会での理事会企画の検討：統計を広く知ってもらうための取り組みを積極的に行なっていく必要があるとの認識で一致した。
- ・ 新雑誌の発行：今後継続して検討していく。

3. 2008 年度連合大会の場所と大会実行委員長の決定

慶應義塾大学理工学部（矢上キャンパス）にての開催を了承した。開催日時は 2008 年 9 月 8 日（月）～13 日（土）のいずれか（開催校の都合で決定）。

4. 2007 年度連合大会事務局などからの要望への対処

連合大会の広告・出展依頼について、各学会としてできる範囲で協力することを確認した。大会開催にあたってのシンフォニカとの契約は北川新理事長が対応する。

5. その他

2006 年度の学会連合の収支報告があった。また、連合理事会の事務局機能を強化する必要があると示唆された。